

1 教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、学習活動を通して、資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。

(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) 数学的活動の楽しさや数学の利点を実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

2 評価の観点と内容および評価方法

	観 点	内 容	評価の方法
①	知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元ごとに実施する小テスト
②	思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察したり、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元ごとに実施する小テスト ・レポートの内容 ・
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学の利点を実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、定期テスト ・授業ノート、ワーク、自主学習ノートの提出 ・授業、グループワークに取り組む姿勢 ・ふりかえりシートの内容 ・レポートの内容

3 学習のてびき

使用教材	教科書：未来へひろがる数学1（啓林館） ワーク：数学リポート学習（正進社） プリント：観点別評価wプリント（新学社）	
学習方法	学校	<授業> ・疑問に思ったことや分かったことなどを積極的に発表しましょう。 ・先生や仲間の話を静かに聞きましょう。

	<ul style="list-style-type: none"> ・前向きに問題に取り組みましょう。 <p><テスト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を教科書・ノート・ワーク・プリントを使って復習しましょう。分からないところや疑問点は先生に聞いてください。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の理解度に合わせて計画を立てましょう。 ・学習した内容をワークで確認しましょう。 ・どこを理解しているのか、理解していないのか分析しましょう。 ・曖昧な所を練習しましょう。

4 年間計画

3 学期制	章	節
4 月	1 章 正の数・負の数(26)	1 節 正の数・負の数
5 月		2 節 正の数・負の数の計算
6 月		3 節 正の数・負の数の利用 章末問題
	2 章 文字の式(17)	1 節 文字を使った式
2 節 文字式の計算		
7 月		章末問題
9 月	3 章 方程式(16)	1 節 方程式
10 月		2 節 方程式の利用 章末問題
		4 章 変化と対応 (18)
2 節 比例		
11 月	3 節 反比例	
	4 節 比例, 反比例の利用 章末問題	
	5 章 平面図形 (18)	1 節 直線と図形
2 節 移動と作図		
12 月		3 節 円とおうぎ形 章末問題
		6 章 空間図形 (19)
1 月	2 節 立体の体積と表面積 章末問題	
	2 月	
1 節 ヒストグラムと相対度数		
2 節 データにもとづく確率 章末問題		
3 月		

1 教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、学習活動を通して、資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。

(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) 数学的活動の楽しさや数学の利点を実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

2 評価の観点と内容および評価方法

	観 点	内 容	評価の方法
①	知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・单元ごとに実施する小テスト
②	思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察したり、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・单元ごとに実施する小テスト ・レポートの内容 ・
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学の利点を実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、定期テスト ・授業ノート、ワーク、自主学習ノートの提出 ・授業、グループワークに取り組む姿勢 ・ふりかえりシートの内容 ・レポートの内容

3 学習のてびき

使用教材	教科書：未来へひろがる数学2（啓林館） ワーク：数学リポート学習（正進社） プリント：観点別評価wプリント（新学社）
	<授業> ・疑問に思ったことや分かったことなどを積極的に発表しましょう。

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> 先生や仲間の話を静かに聞きましょう。 前向きに問題に取り組みましょう。 <テスト> <ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を教科書・ノート・ワーク・プリントを使って復習しましょう。分からないところや疑問点は先生に聞いてください。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 自分の理解度に合わせて計画を立てましょう。 学習した内容をワークで確認しましょう。 どこを理解しているのか、理解していないのか分析しましょう。 曖昧な所を練習しましょう。

4 年間計画

3 学期制	章	節
4 月	1 章 式の計算 (12)	1 節 式の計算
		2 節 文字式の利用
5 月		章末問題
6 月	2 章 連立方程式 (13)	1 節 連立方程式
		2 節 連立方程式の利用
		章末問題
7 月	3 章 一次関数 (20)	1 節 一次関数とグラフ
9 月		2 節 一次関数と方程式
		3 節 一次関数の利用
		章末問題
10 月	4 章 図形の調べ方 (16)	1 節 平行と合同
11 月		2 節 証明
		章末問題
12 月	5 章 図形の性質と証明 (19)	1 節 三角形
		2 節 四角形
1 月		章末問題
2 月	6 章 場合の数と確率 (8)	1 節 場合の数と確率
		章末問題
3 月	7 章 箱ひげ図とデータの活用 (7)	1 節 箱ひげ図
		章末問題

1 教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、学習活動を通して、資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。

(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) 数学的活動の楽しさや数学の利点を実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

2 評価の観点と内容および評価方法

	観 点	内 容	評価の方法
①	知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元ごとに実施する小テスト
②	思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察したり、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元ごとに実施する小テスト ・レポートの内容 ・
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学の利点を実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、定期テスト ・授業ノート、ワーク、自主学習ノートの提出 ・授業、グループワークに取り組む姿勢 ・ふりかえりシートの内容 ・レポートの内容

3 学習のてびき

使用教材	教科書：未来へひろがる数学3（啓林館） ワーク：数学の問題ノート（新学社） プリント：観点別評価wプリント（新学社）	
学習方法	学校	<授業> ・疑問に思ったことや分かったことなどを積極的に発表しましょう。 ・先生や仲間の話を静かに聞きましょう。 ・前向きに問題に取り組みましょう。

	<p><テスト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を教科書・ノート・ワーク・プリントを使って復習しましょう。分からないところや疑問点は先生に聞いてください。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の理解度に合わせて計画を立てましょう。 ・学習した内容をワークで確認しましょう。 ・どこを理解しているのか、理解していないのか分析しましょう。 ・曖昧な所を練習しましょう。

4 年間計画

3 学期制	章	節
4 月	1 章 式の展開と因数分解 (19)	1 節 式の展開と因数分解
5 月		2 節 式の計算の利用
		章末問題
6 月	2 章 平方根 (16)	1 節 平方根
		2 節 根号をふくむ式の計算
		3 節 平方根の利用
		章末問題
7 月	3 章 二次方程式 (13)	1 節 二次方程式
		2 節 二次方程式の利用
		章末問題
9 月	4 章 関数 $y=ax^2$ (16)	1 節 関数とグラフ
		2 節 関数 $y=ax^2$ の値の変化
		3 節 いろいろな事象と関数
10 月		章末問題
	5 章 図形と相似 (25)	1 節 図形と相似
2 節 平行線と線分の比		
3 節 相似な図形の計量		
4 節 相似の利用		
章末問題		
12 月	6 章 円の性質 (10)	1 節 円周角と中心角
		2 節 円の性質の利用
		章末問題
1 月	7 章 三平方の定理 (13)	1 節 直角三角形の 3 辺の関係
		2 節 三平方の定理の利用
		章末問題
2 月	8 章 標本調査と データの活用 (6)	1 節 標本調査
		章末問題
3 月		入試対策

